

一般質問

2月定例会では、26人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

森林整備の在り方について

坂野 経三郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 会派 自由民主党

問 林業は補助金無しには経営が成立しない。針葉樹の人工林から、管理不要で永続的に公益性を持つ混交林へ森林整備を方針転換し、それを植樹祭を通じ全国発信すべき。森林環境保全税はその目的のために使用すべき。308億円の長期債務を抱える造林公社は解散し、土地所有者に不利益を与えないように県の直営事業にすべき。

答 造林事業を巡っては国策の失敗。持続可能な森林経営と混交林化を目標とする。造林公社は再点検し、一層の経営改善に努める。

文学的遺産の活用

前田 八壽彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 本県にゆかりの作家や作品は多いがどの様に活用するのか。

答 文学の観点で魅力はある。県内外や海外の人も引きつける素材はある。(教育長)本県は尾崎放哉、尾崎翠など多くの優れた文学者がいる。また、志賀直哉や島崎藤村等著名な作家により、鳥取の豊かな自然を題材にした優れた文学作品も多くある。これらの作家や作品は本県の宝物である。この宝物に光を当て、本県の魅力を再発見し、ふるさとを愛する気持を多くの人に持ってもらいたい。

鳥取県のコメ戦略

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 ①近年コメの一等米比率が低い状況が続いているが、品種登録や奨励品種採用に際して知事の考えは。②我が県でも産学官のプロジェクトチームを作り、実践的な「鳥取県のコメ戦略」を作るべきだと思うが、知事の所見は。

答 ①主流である「コシヒカリ」「ひとめぼれ」から特に平坦部は「きぬむすめ」への一層の転換を考えている。②JAや県、関係者でブ

ロジックチームを作り、一体性を持ったコメ戦略の取り組みを一層展開していく必要があると考えている。

クルーズ寄港万全の体制で

安田 優子 議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

問 境港へのクルーズ船寄港が今年は20回近く過去最高となるが、今後に繋ぐ対応を問う。

答 懸案の竹内南貨客船ターミナル整備については2月8日に赤沢政務官から27年度予算化に向けて頑張ろうと言ってもらい、現在募集中の先導的官民連携事業に応募する為の準備を進めている。大型船化に備え、これ迄の計画を変更し、魅力的な港づくりの基盤整備も含め事業費も百億円というような話になる。境港らしい歓迎迎を工夫し寄港のメッカにしたい。

職員の給料の課題

鉄永 幸紀 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 給料表の歪み、給料と少子化等の課題点を問う。

答 鳥取県は、地域民間給与との連動を考慮しているため、国の給料表とはずれてきている。「わたり」廃止も厳格に行い、ラスパイレス

指数も大幅に下がっている。しかし、指摘の点は、問題意識を持つており適正に是正すべき。(人事委員会委員長) 地方公務員法の三原則に従い協議していくが、指摘の点は課題と認識している。

まんが王国の国づくりを

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 まんが王国はこれからが本格的な国づくり。観光の柱の一つに漫画を入れ、産業界や国際交流に結びつけるべきでは。

答 議員に賛同する。外国からの誘客では、圧倒的な効果があった。まんが王国ととり衆議院のような組織を作って、王子決定や古事記のような建国の歴史編さんを考えてもよい。東部の拠点設置は推進する。谷口ジロー先生の世界などをアピールする形づくりを市とも協力して検討する。

東南アジア・台湾との交流

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

問 親日が大勢おられる台湾についてスポーツ交流、日本と台湾・東南アジアの交流・観光、台湾への企業進出について問う。

答 東日本大震災での台湾から莫

大な支援をいただいたことに日本国民として感謝している。観光の他に100万人のオーダーで活発な交流がある。中小企業へ入るのビジネスマッチング等の交流も今後コースアップする話があり、様々な観点で台湾と東南アジアとの絆について協力していきたい。

教育立県と中山間地振興

上村 忠史 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 教育立県に関し、学校週六日制、東南アジアで評価の高い日本精神、長所を褒める教育、体罰と懲戒について問う。中山間地域振興では中国五県担当県議の議論を踏まえ、五県知事会長の知事の考えを伺う。

答 疎外化の現代では目を覆う事件はあるが、日本精神は身近に残っていて支え合いの地域づくりに生かしたい。中国五県で連携し、産業、観光等に努力したい。(教育長) 読解力や記述式の問題が課題。褒めて内発的力を惹き出したい。

防災減災対策推進の強化を

国岡 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 かけはし

問 東日本大震災から丸2年、鳥取県の防災対策の強化が必要。①

地域防災計画②減災目標③実践的総合訓練④新警察ヘリの活用⑤人材の育成⑥防災教育⑦防災拠点の整備⑧要援護者の避難計画について問う。

答 ①原子力・津波・豪雪対策を見直す②32年を目標に努力③訓練等で防災の戦力を拡大④救助技術を習得し活用⑤研修を積極的に実施⑥具体的に行動できる教育を推進⑦防災拠点の選定と整備を推進⑧今後進める。

津波防災対策 総点検を

森岡 俊夫 議員

選挙区 境港市 会派 かけはし



問 本県では、海抜5m未満に14万人が居住。その大部分は弓浜半島部に集中。つまり、弓浜半島への津波被害をいかに食い止めるかが本県津波対策の最大課題であり、特に標高の低い境港市への浸水被害想定は甚大である。これらを踏まえ県全体の防波堤の規模や強度について総点検すべきと考えるが。

答 防波堤で全て防げるものではないが、今国として防波堤のあり方を検討しており、直轄堤防としての対応を求めていく。

脱原発社会の 実現を目指せ

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 かけはし

問 東日本大震災が発災した本日、会派全員で防災対策を質す。環境イニシアティブプランの方向性は間違いない。エネルギー革命を実現し、もったいないを実現する省エネ革命を実現し、脱原発社会を実現することが本当の意味での県民の安心・安全を構築することと思うが知事の考えは。

答 エネルギー革命を我々は起こしていきたい。鳥取基点で起こしていきたい。理想の実現に向け、震災の教訓を基にした新しい社会づくりに乗り出したいと思う。

日本海国土軸 県民の願い

野田 修 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①山陰本線の電化と豊岡・鳥取間の直通化②学校での発達障がい児支援について③スポーツ振興と中学・高校における運動部顧問の指導体制を問う。

答 ①新幹線をも含めた県民や国民的議論が必要。電化については、国の動向を注視しながら体制を整える。通勤通学時間帯の豊岡・鳥取間直通化については、利用者の実態調査を行う②24年度は213名。年々増加している現状を的確に把握し、対処する③国の指針に沿い、指導体制の強化に努める。

慢性白血病を 特定疾病に

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 慢性骨髄性白血病（CML）治療は画期的な新薬で5年生存率が20%から90%へ大幅に改善した。しかし、高額な薬のため、患者・家族の経済的負担が大きく、治療継続をためらう患者がいる。国は、特定疾病（患者負担月額1万円）などの大幅な見直しを予定している。CMLを特定疾病とするよう国への働きかけを求める。

答 ぜひ早急に、社会保障負担についての国民会議の場で議論してもらいたい。県としても国に対して要請活動に回りたい。

企業立地を 更に進めよう

興治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 ここ2年ほど企業立地が急速に進み、企業用地が残り少ない。市町村の企業用地の取得や、西倉吉工業団地の拡張に対し支援を。機械設備の移設費を補助対象に。

答 平成24年度は50件の立地があり、倉吉では誘致政策を変えた結果、6件と増えた。市町村による企業用地取得費の借入に対し、利子補助を検討する。西倉吉工業団地拡張については、補助対象とな

るよう制度を確定する。機械設備の移送費に対する補助は、要綱の柔軟な運用で対応する。

中山間地域の 振興を

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 平成23年山間集落実態調査が発表され、中山間地域振興条例の見直しが行われた。あれから一年。調査を行った集落にどのような手を打ったのか。集落支援員の未設置箇所に、集落支援員を今後どのように配置するのか。

答 現場の観点に立つて必要な事業を実施している。中山間地の実情に即した対策を市町村と協働しながら打っていく。集落支援員については、もっと活用すべき。市町村に働きかけを強めていきたい。

生活保護 見直し反対を

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

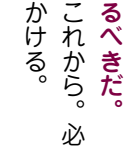
問 政府は参院選後に生活保護基準の大幅引き下げをしようとしている。保護対象となる人の15%しか受給していない現状で、低所得層の消費水準と比較することは道理はないと思うがどうか。

答 県内の影響は夏以降にわか

る。地方現場の意見を十分に踏まえてやっていただく必要がある。

自然環境の 保護・保全を

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

問 自然環境の保護・保全活動はジオパーク登録時の要件の一つである。海岸線の漂着ゴミの対策と、住民への啓発・啓蒙活動はどうか。景観上から見ても重要な鳥島の松枯れ対策について何う。

答 ごみの処理・処分は海岸管理者がするよう定められており、市町村に委託又は県が直営で行っている。中国知事会でも提起するなど関係先に強力に働きかける。液剤を樹幹注入しているが、ジオパークの重要な一部であり、町とよく話合って保全に努めたい。

再生可能エネ ルギーの課題

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

問 ①固定買い取り制度の導入と環境イニシアティブプランの全体像は。②太陽光発電は電力網の事

情で計画に変更が生じているが対応策は。③小水力発電は民間事業者の参入が得にくい中、農業用ダムやJAの施設の事業見直しは。

答 ①再生可能エネルギーで県全体の住宅を賄う位が目標②空き容量の把握、送電線強化を国にも要請③下蚊屋、船上山のダムではダムの放水路に発電施設を付加し、南谷では土地改良事業外で初めて適用する。JAは支援事業で調査中だ。

スポーツ振興 知事部に

藤縄 喜和 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 現在のスポーツ健康教育課は業務が広範になり過ぎていて。以前のように体育保健課とスポーツ振興課に分離した上で、スポーツ振興と競技力向上を県政の重要課題として、知事部に移管すべきでは。

答 学校体育を除くスポーツ関係は法律で知事部の所管が可能になった。生涯スポーツの健康づくりや観光面でも成果がある。知事部局がスポーツを所管する意義は高い。全国の趨勢もあるので調査研究して、判断して行きたい。



県の産業振興 一層充実を

浜崎 晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①県内LED企業の研究開発を支援する施策を他の成長分野に応用しては②地元根ざし、地道に努力している中小零細企業を応援する取組を一層充実すべきでは。

答 ①電気自動車等の分野で状況を見て、支援体制を検討したい②県内製造業は厳しい状況だが、スクラムを組んで乗り越えていかなければならない。現場の声に基づいた産業政策を実施し、もう一度もつくりの鳥取県を再興していきたい。

TPP反対と 子育て王国

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①安倍総理のTPP参加表明は公約違反。聖域の担保はなく、参加反対を。米国がTPP参加の条件に狂牛病検査縮小を求めているが全頭検査継続を②子育て王国ナンバーワンというなら民間保育所運営費補助金廃止の中止を。

答 ①政府には慎重な検討と国民のコンセンサスを得ることを求める。県は狂牛病全頭検査を継続したい。②運営費補助金縮減は既定路線とせず、説明会での保育所の

声を受け止め、26年度以降の対応は柔軟に対応する。

和牛王国鳥取 高い肥育技術

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 和牛王国鳥取の復活を目指す中、2月に大阪で開催された第32回全農肉牛枝肉共励会の和牛の部で最優秀賞、優秀賞と上位を独占した。高い肥育技術をどう生かし、その販売戦略は。

答 この快挙は、琴浦のとうはく畜産が達成。脂肪交雑が最高のランクであった。高い肥育技術、飼養技術でオレイン55の該当となる牛を増頭したい。料理雑誌等で取り上げられブランド力もつきつつあり、高級料理店や専門店を中心に顧客を拡大したい。

花回廊を 光で飾ろう

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 冬季シーズンの国内外からの宿泊客、誘客の一大目玉として、とっとり花回廊の大規模なウインタイルミネーションを展開してはと思うが知事の所見を伺う。

答 提案もありましたので新年度に、観光施設をさらに元気にするよう、知恵を出し合う検討委員

会や、研究会をやってもいいのではないかと。併せてイルミネーションのことも考えてみたい。

地下水の保全 県民参画条例

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 ①4月から「地下水保全持続的活用条例」が施行となるが、使わなくなつた井戸の管理対策が必要ではないか②県民参画条例における住民投票は、日本人外国人の区別なく、また18歳以上を対象とすべきではないか。

答 ①調査検討する。行政指導や協議会での申し合わせ、議論の動向によっては条例の在り方にもかわる問題として認識。②公選法どおりという回答が電子アンケート結果では多かった。悩ましい課題であるが理解を願いたい。

都市計画道路 廃止と所管

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 ①都市計画道路の廃止を検討するとされた路線ではその必要性をどう検討されているのか②都市計画道路は、生活環境部の所管でなく県土整備部とすべきではないか。

答 ①丁寧に議論を尽くしながら、地元として納得できるようにする

求めていく②県土整備部長の考えも聞いてみたいが、柔軟に考えていと思う。都市計画道路の所管について、県土整備部の方についてのことであれば、元の形に戻るわけなので対応は十分可能である。

県民参画条例 改めて問う

稲田 寿久 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

問 この条例の住民投票制は本来の制度の意義から外れるものである。住民投票は元来直接知事が住民にその意思を問うもの。それらの中に議会の意思を介在させるのはいささか変則である。同時に議会と知事の意思が激しく相反する場合には、住民の意思を直接問えない理屈になるが、どうか。

答 この点は以前の議会からの提案に従った。激しい意見の対立は鳥取県版「テクラシー」の大意に従った良識的解決にまつ。

会派正式名称
自由民主党：鳥取県議会自由民主党
絆 かけはし：鳥取県議会会派「絆」
公明 党：公明党鳥取県議会議員団
共産 党：日本共産党鳥取県議会議員団

